

## 脳神経外科手術を受けられた患者様へ

奈良県立医科大学附属病院中央手術では、以下の臨床研究を実施しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、「問い合わせ先」へご照会ください。

### 「研究課題名」

脳神経外科パークベンチ体位での多層性ポリウレタンフォーム使用による皮膚障害予防効果の検討

「研究機関」 奈良県医科大学附属病院 中央手術部

「研究実施期間」 倫理審査委員会承認後～2018年3月31日

「研究責任者」 中央手術部 看護師 石田麻希

### 「研究の目的」

当院の脳神経外科手術では年間約60例のパークベンチ体位（横向き）による手術が行われています。パークベンチ体位（横向き）による腋窩（脇の下）から前胸部（胸の前）にかけての発赤及び水泡（水ぶくれ）などの皮膚トラブルの報告件数が多い傾向にあります。これらの手術体位に起因する皮膚トラブルを、適切な予防策を講じ実践することが手術室看護師の重要な役割の一つです。当院手術室では、これまで様々な除圧物品を使用し皮膚トラブルの回避に努めてきました。2016年11月より皮膚トラブルが起りやすい場所にポリウレタンフォーム材の使用を開始しました。手術終了後の皮膚トラブルに対して、ポリウレタンフォーム材の使用前後の比較検討を行い、従来に比べポリウレタンフォーム材使用の方が褥瘡発生率を下げるか検討します。

### 「研究の意義」

手術体位による皮膚トラブルの発生を抑える製品を使用することで、患者様への皮膚トラブルが最小限に安全で安心な手術を提供できます。

### 「研究の方法」

対象となる患者様：パークベンチ体位（横向き）で脳神経外科手術を受けられた方

対象となる期間：2015年11月1日～2017年12月31日

利用する情報等：BMI、年齢、血液検査データ値（TP,Alb,Hb）、手術終了時体温、手術時間、手術後24時間以内に発生した発赤・水泡の有無

### 「個人情報の取扱い」

個人情報については、他者の目に触れないよう独立した部屋にて個人のカルテ情報を収集

します。各症例から情報を取り出す際に統計整理番号を割り付けし、患者 ID、氏名、生年月日を削除し、別ファイルを作成します。そのため集計を完了すると、個人が特定出来ないため申し出があっても、データを撤回することが出来ません。コンピューターは鍵のついた保管庫にて保管し、記録媒体の持ち込み・持ち出しを禁止します。個人情報のデータ保存用 USB はロック付きのものを使用し、データを移行した後は個人のパソコンからは個人が識別される項目は全て削除します。研究終了後は個人情報のデータを院内研究最終発表後に破棄します。

※上記の研究に患者様のカルテ情報の利用のご了承がいただけない場合や、研究に対するお問い合わせがありましたら、下記までご連絡ください。ご了承いただけない場合でも患者様に何らかの不利益を被ることはありません。

**【問い合わせ先】**

奈良県立医科大学附属病院中央手術部

研究責任者 看護師 石田麻希

〒634-8522 橿原市四条町 840 TEL 0744-22-3051（内線 1300）